

タイトル	H29 年度 教育学部 一般入試（前期） 生活健康系共通小論文
評価のポイント	<p><推薦入試></p> <p>小論文問題—評価の観点：生活や健康に関する総合的な思考力、問題発見および解決能力等を評価した。評価に当たっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none">・内容（記述内容の正確さ、発想の豊かさ等）・考察力（考察の深さ）・論理能力（論旨の明確さ）・文章表現能力（文章表現の豊かさ、正確さ）

【 解 答 例 】

人間は生活に必要なエネルギーや、からだの成長に必要な栄養素を得るために食事を行います。食料供給が十分な現在の日本では、エネルギー摂取過多や、逆に摂取不足を起こす行動が問題となっています。また、食事の時間にも適切なタイミングがあることなどが、近年の研究から明らかにされ、成長期の子どもの身体の発育には「適正な栄養摂取」が重要と言えます。

また、成長期の子どもは精神的にも大きく変化を示します。身近な家族や友人と会話をしながら食事をすることによって、生きるために必要な多くの情報を得たり、考え方を身につけたり、または食事自体の楽しみ方を経験することができます。いろいろな料理を前にして、その材料がどのようにして作られて、今ここにあるのかなど、生きるために必要な食料を得ることの大変さなどについて学ぶ機会にもなります。精神的な発達には、このような食事をとる環境はとても重要なものであると考えられます。

食育基本法の前文にも書かれているように、「人間性をはぐくみ、生きる力を身につけるためには「食」が重要なものとなります。成長期の子どもにとって「健全な食生活」とは、生きるために必要なエネルギーや身体の発育に必要な適正量の栄養を摂取することができ、さらに心の発達に必要な「コミュニケーション」の場や「十分な時間」が提供されているものであると私は考えます。